

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年3月24日(2016.3.24)

【公開番号】特開2014-123936(P2014-123936A)

【公開日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【年通号数】公開・登録公報2014-035

【出願番号】特願2013-92374(P2013-92374)

【国際特許分類】

H 04 L 12/741 (2013.01)

G 06 F 17/30 (2006.01)

【F I】

H 04 L	12/741	
G 06 F	17/30	4 0 9

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月4日(2016.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

各々が、ビット長Mの複数のデータを格納可能であり、入力されたビット長L(ただし、L > M)の検索キーのうち予め定めるN個(ただし、N = L - M)の特定ビットを除くビット長Mの非特定ビット列と一致する格納データを第1の検索方式で検索する複数の第1の検索部と、

ビット長Lの複数のデータを格納可能であり、前記検索キーと一致する格納データを前記第1の検索方式と異なる第2の検索方式で検索する第2の検索部と、

前記複数の第1の検索部および前記第2の検索部の各々の検索結果に基づいて、いずれか1つの検索部の検索結果を選択する選択回路とを備えた検索システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

各前記第1の検索部は、M個のメモリ空間を有する記憶部を含み、
第i番目(ただし、1 ≤ i ≤ M)のメモリ空間には、ビット数iのアドレスが割り当てられ、

アドレスサイズの大きいメモリ空間ほど優先順位が高く、

各前記第1の検索部において、各格納データの有効ビット部分をアドレスとして特定される前記メモリ空間の記憶領域には、各格納データに対応するコードが記憶され、

各前記第1の検索部は、さらに、

前記ビット長Mの非特定ビット列の最上位ビット側から、連続するj個(ただし、1 ≤ j ≤ M)のビットを抽出することによって、前記M個のメモリ空間にそれぞれ対応するM個の読み出アドレスを生成するアドレス生成部と、

前記M個の読み出アドレスによって前記M個のメモリ空間からそれぞれ読み出されたデータが、前記コードを含む有効な読み出データであるか否かを判定する判定部と、

前記判定部によって有効と判定された読み出データのうち、最も前記優先順位の高いメモ

リ空間から読み出された読み出データに含まれるコードを選択して出力する選択部とを含む、請求項4または5に記載の検索システム。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項8】

各前記第1の検索部は、M個のメモリ空間およびレジスタを有する記憶部を含み、第i番目(ただし、1 i M)のメモリ空間には、ビット数iのアドレスが割り当てられ、

アドレスサイズの大きいメモリ空間ほど優先順位が高く、

各前記第1の検索部において、各格納データの有効ビット部分をアドレスとして特定される前記メモリ空間の記憶領域には、各格納データに対応するコードが記憶され、

前記レジスタには、いずれの前記格納データも前記ビット長Mの非特定ビット列に一致しなかったときに出力するためのコードが記憶され、

前記レジスタは、前記M個のメモリ空間のいずれよりも優先順位が低く、

各前記第1の検索部は、さらに、

前記ビット長Mの非特定ビット列の最上位ビット側から、連続するj個(ただし、1 j M)のビットを抽出することによって、前記M個のメモリ空間にそれぞれ対応するM個の読み出アドレスを生成するアドレス生成部と、

前記M個の読み出アドレスによって前記M個のメモリ空間からそれぞれ読み出された読み出データおよび前記レジスタから読み出された読み出データが、前記コードを含む有効な読み出データであるか否かを判定する判定部と、

前記判定部によって有効と判定された読み出データのうち、最も前記優先順位の高いメモリ空間または前記レジスタから読み出された読み出データに含まれるコードを選択して出力する選択部とを含む、請求項4または5に記載の検索システム。